

介護保険サービスをつかって自宅で心疾患管理

退院するときは病気が治ったように感じるかもしれませんが、「これぐらいだいじょうぶ」ということが重なると再び症状が悪くなります。いまの体調を維持して悪化を防ぐ、あるいは悪化のサインをはやく発見するために介護保険サービスの利用をお勧めしています。

薬の飲み忘れ、
体調チェックも
忘れがち



食事は
コンビニ弁当
などで
食塩摂取過多



体力低下に加え、
家事などで
バタバタするため
心臓に負担

筋力低下で
転びやすい



心不全悪化や
転倒による外傷など
入院リスクが高くなります



介護保険サービスをつかった心不全管理と生活支援の方法

ほかにも住宅改修や介護用品のレンタルもあります。
個人の介護度や状態、生活にあわせて必要な介護サービスをえらんで利用します。

①薬剤管理のために

訪問薬剤管理指導

- ・薬剤師が自宅に訪問
- ・薬の管理・相談や副作用をチェック
- ・薬の確認や、服薬の調整をかかりつけ医に提案



訪問看護

- ・看護師が自宅に訪問
- ・お薬カレンダーに薬をセットしたり、飲み忘れがないか、薬の管理をサポート



②栄養管理のために

訪問介護（ホームヘルパー）

- ・ホームヘルパーが自宅を訪問
- ・調理、食材の買い物を支援

訪問栄養指導

- ・管理栄養士が自宅を訪問
- ・食事に関する相談・栄養状態を評価



訪問歯科衛生指導

- ・歯科衛生士などが自宅を訪問
- ・歯や口のケア
- ・飲み込みの訓練

③心臓にかかる負担軽減のために

通所リハビリ（デイケア）・訪問リハビリ

- ・リハビリにより身体機能、生活機能を改善して心臓の負担を軽減
- ・心臓の負担軽減に必要な福祉用具の選定や動作方法の指導
- ・転倒によるけがの予防



訪問介護

- ・体に負担が大きい家事を支援することで心臓への負担を軽減



④心疾患の悪化を見逃さないために

通所介護（デイサービス）

- ・日帰りで利用できる介護サービス
- ・食事・入浴の支援、体調をチェック



訪問看護

- ・看護師が自宅に訪問
- ・体調をチェック



さまのメモ

年 月 日

相談/介護サービス 担当者（申請窓口・ケアマネ・MSW・看護師など）	所属・連絡先など	
（職種 ）		
医療機関・担当医	住所・連絡先	
（入院 外来 かかりつけ 訪問 ※該当するものに○） 榊原記念病院 科 医師	〒183-0003 東京都府中市朝日町 3-16-1 ☎042（314）3111	
（入院 外来 かかりつけ 訪問 ※該当するものに○） 科 医師	☎	
（入院 外来 かかりつけ 訪問 ※該当するものに○） 科 医師	☎	
困っていること・安心して暮らすために必要と思うことなど	対策・解決の方針など	

介護保険サービスの申請について

①要介護認定の申請

患者さんがお住まいの市区町村の窓口で要介護認定（要支援認定を含む）の申請を行います。
地域包括支援センターなどの代行で手続きをすることも可能です。

≪申請窓口≫

- 区・市役所介護保険課
- 地域包括支援センター
 - ・申請には主治医意見書を作成してもらうために「主治医」を記載する欄があります。
 - ・榊原記念病院の医師を「主治医」として申請したい場合は事前にご相談ください。

②認定調査・主治医意見書

市区町村などの調査員が訪問して心身の状態を確認するための認定調査を行います。
主治医が心身の状況について意見書を作成します。

③審査判定

調査結果および主治医意見書に基づき、介護認定審査会で要介護度の判定が行われます。

④認定

認定結果を申請者に通知します（通常は申請から結果通知まで30日程度かかります）。
認定は要支援1・2、要介護1～5までの7段階および非該当に分かれています。

⑤居宅/介護予防サービス計画（ケアプラン）の作成

介護サービスを利用する場合は、居宅/介護予防サービス計画（ケアプラン）の作成が必要となります。

地域包括支援センターまたはケアマネジャーと一緒に利用する介護サービスの計画を立てます。

⑥介護サービス利用の開始

ケアプランに基づいたさまざまな介護サービスが利用できます。

厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

編集：「地域におけるかかりつけ医等を中心とした心不全の診療提供体制構築のための研究」 研究班

「地域のかかりつけ医と多職種のための心不全における介護サービスの活用方法Q&A」

本パンフレットは上記より抜粋し、編集しました。